

2025年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月12日

上場会社名 ラクスル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4384 URL https://corp.raksul.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 永見 世央
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 グループCFO (氏名) 杉山 賢 TEL 03(6629)4893
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第3四半期の連結業績（2024年8月1日～2025年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		non-GAAP EBITDA※1	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第3四半期	45,750	21.8	15,969	26.5	3,017	37.8	4,571	28.5
2024年7月期第3四半期	37,557	24.7	12,623	38.4	2,189	50.2	3,556	42.5

(注) 包括利益 2025年7月期第3四半期 2,316百万円 (9.6%) 2024年7月期第3四半期 2,114百万円 (49.2%)

	経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年7月期第3四半期	2,711	45.0	2,336	11.0	40.23	39.26
2024年7月期第3四半期	1,869	73.8	2,104	47.7	36.06	34.27

	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	%	%	%
2025年7月期第3四半期	16.6	6.2	6.6
2024年7月期第3四半期	15.8	5.0	5.8

(参考) 持分法投資損益 2025年7月期第3四半期 △200百万円 2024年7月期第3四半期 △268百万円

※non-GAAP EBITDAは、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却額を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期第3四半期	43,138	15,520	32.5	242.23
2024年7月期	43,863	15,678	32.3	243.80

(参考) 自己資本 2025年7月期第3四半期 14,013百万円 2024年7月期 14,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	1.70	1.70
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		non-GAAP EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	61,500 ～62,500	20.3 ～22.3	21,300 ～21,800	23.9 ～26.8	3,700	46.6	6,000	31.9

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,400	66.5	2,700	27.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 2025年7月期の連結業績予想につきましては、2025年6月12日公表の「2025年7月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期3Q	59,235,606株	2024年7月期	58,972,546株
② 期末自己株式数	2025年7月期3Q	1,384,918株	2024年7月期	810,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年7月期3Q	58,093,571株	2024年7月期3Q	58,364,815株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年6月12日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

わが国の経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調となっているものの、物価上昇や金融資本市場の変動により先行きの不透明な状況が続いております。その一方で、当社が変革に挑戦している業界や領域の潜在需要はまだ大きく、各市場はデジタル化やEC化が進展しております。2023年の市場規模は、梱包材や商業印刷をはじめとするトランザクション領域の市場規模は7.8兆円（経済産業省「生産動態統計」等を基に当社試算）、テレビ・デジタル広告および国内SaaS市場をはじめとするソフトウェア&マーケティング領域の市場規模は6.5兆円（電通「2023年 日本の広告費」等を基に当社試算）、新規領域となるファイナンス領域の市場規模は2.5兆円（日本銀行「決済動向」等を基に当社試算）まで拡大したと想定されております。

当社グループは、「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」というビジョンを掲げながら、2023年8月には代表取締役の交代を経て、第二創業期へ移行しました。印刷・集客支援のプラットフォーム「ラクスル」やテレビCM・動画広告のプラットフォーム「ノパセル」といった、従来からの中核サービスの発展を進め、その周辺領域のM&Aを連続的に行うことによって、これらの領域拡張や収益性の向上を目指しております。当中間連結会計期間においては、当社グループに加わった子会社のPMI (Post Merger Integration) を推進し、効率のよい事業運営体への構築・整備を進めております。これらに加えて、2024年9月には中期戦略を発表し、従来のECサイトによるトランザクション事業を軸にしながら、ソフトウェア、ファイナンスの機能を発展させ「End-to-Endで中小企業の経営課題を解決するテクノロジープラットフォーム」を目指すことを新たな方向性として打ち出しております。トランザクション事業によってこれまでに築いてきた顧客基盤やキャッシュ・フロー創出能力をもとに新規領域への展開を進め、対象市場を拡大させていくべく、より一層サービス開発を進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45,750百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益は3,017百万円（前年同期比37.8%増）、経常利益は2,711百万円（前年同期比45.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,336百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。セグメントごとの比較情報については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(調達プラットフォームセグメント)

中小企業や個人事業主を主な顧客とし、印刷・ソリューション領域、ビジネスサプライ・周辺領域、梱包材領域いずれも順調にオーガニック成長を継続しており、加えて大企業向けサービスも売上成長に大きく貢献しております。サービス間のIDや決済システムの統合を進め、複数カテゴリーの商品購入に向けたキャンペーンの試行などを通じて、更なる成長の拡大に取り組んでおります。加えて前期に取得した子会社の業績貢献が一定程度あったほか、新たにネットスクウェア株式会社の株式を取得したことで、競争優位性を維持しながら引き続きサービスの向上に取り組んでおります。

この結果、売上高は42,494百万円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益は5,484百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

(マーケティングプラットフォームセグメント)

中堅・大企業を対象とした広告代理店及びSaaS/Professional Serviceの領域においては顧客との長期的な関係性の構築が進み、さらに費用構造の見直しも進めたことで収益性が改善しました。今後は生成AIの活用を通じた売上機会の創出を目指します。中小企業向けのマーケティングサービスにおいては、動画広告やウェブサイト作成サービスを中心に順調に売上総利益を拡大しております。さらには、デジタルマーケティング領域の支援体制の強化を目的に、新たに株式会社オールマーケの株式を取得し、より一層一体運営を図り包括的なマーケティング支援の進化に向けて様々な取り組みを行っております。

この結果、売上高は2,934百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント損失は82百万円（前年同期はセグメント損失239百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は23,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,549百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,665百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は19,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ824百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が706百万円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が236百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は14,628百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,354百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1,850百万円増加した一方、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が5,003百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は12,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,788百万円増加いたしました。これは主に社債が450百万円減少した一方、長期借入金が2,641百万円、繰延税金負債が595百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は15,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,336百万円を計上した一方、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の追加取得等により資本剰余金が1,780百万円減少、自己株式の取得により自己株式が700百万円増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,014	15,348
受取手形及び売掛金	5,770	5,782
商品及び製品	495	494
原材料及び貯蔵品	309	305
前払費用	424	393
その他	967	1,108
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	24,981	23,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	914	1,741
減価償却累計額	△310	△431
建物及び構築物 (純額)	603	1,310
機械装置及び運搬具	1,711	2,336
減価償却累計額	△1,304	△1,611
機械装置及び運搬具 (純額)	407	725
土地	135	198
建設仮勘定	136	9
その他	159	358
減価償却累計額	△114	△131
その他 (純額)	45	227
有形固定資産合計	1,328	2,471
無形固定資産		
のれん	7,730	6,956
ソフトウェア	538	645
ソフトウェア仮勘定	51	180
その他	3	0
無形固定資産合計	8,324	7,783
投資その他の資産		
投資有価証券	7,524	7,672
関係会社株式	454	285
長期前払費用	8	5
繰延税金資産	217	192
その他	1,022	1,294
投資その他の資産合計	9,228	9,450
固定資産合計	18,881	19,705
資産合計	43,863	43,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,825	3,774
未払金及び未払費用	2,127	1,790
短期借入金	2,300	4,150
1年内返済予定の長期借入金	1,634	2,284
1年内償還予定の社債	450	450
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	5,003	—
未払法人税等	533	374
未払消費税等	391	148
契約負債	591	592
資産除去債務	122	43
賞与引当金	273	219
その他	729	800
流動負債合計	17,983	14,628
固定負債		
長期借入金	7,006	9,647
社債	2,000	1,550
資産除去債務	110	110
繰延税金負債	1,084	1,680
固定負債合計	10,200	12,988
負債合計	28,184	27,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,894
資本剰余金	5,606	3,825
利益剰余金	3,659	5,897
自己株式	△1,001	△1,701
株主資本合計	11,062	10,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,119	3,105
為替換算調整勘定	△1	△8
その他の包括利益累計額合計	3,117	3,097
株式引受権	123	71
新株予約権	1,375	1,436
非支配株主持分	—	—
純資産合計	15,678	15,520
負債純資産合計	43,863	43,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
売上高	37,557	45,750
売上原価	24,933	29,781
売上総利益	12,623	15,969
販売費及び一般管理費	10,434	12,951
営業利益	2,189	3,017
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	1	1
キャッシュバック収入	15	3
その他	16	40
営業外収益合計	44	60
営業外費用		
支払利息	42	87
為替差損	—	15
株式報酬費用消滅損	8	0
持分法による投資損失	268	200
その他	44	62
営業外費用合計	363	366
経常利益	1,869	2,711
特別利益		
関係会社株式売却益	1,407	1,067
新株予約権戻入益	132	2
その他	2	—
特別利益合計	1,543	1,069
特別損失		
解約違約金等	137	—
特別損失合計	137	—
税金等調整前四半期純利益	3,275	3,781
法人税、住民税及び事業税	641	824
法人税等調整額	606	620
法人税等合計	1,248	1,444
四半期純利益	2,027	2,336
非支配株主に帰属する四半期純利益	△76	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,104	2,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益	2,027	2,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	△13
為替換算調整勘定	—	△6
その他の包括利益合計	86	△20
四半期包括利益	2,114	2,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,191	2,316
非支配株主に係る四半期包括利益	△76	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社Antooは、同じく当社の連結子会社であるノバセル株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

第2 四半期連結会計期間より、以下の会社は株式取得等により子会社となったため、連結の範囲に含めております。

株式会社ネットスクウェア
 ラクスルバンク株式会社
 株式会社オールマーケ

当第3 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社オールマーケは、同じく当社の連結子会社であるノバセル株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3 四半期連結会計期間において、当社を分割会社とする新設分割により設立した株式会社Elastic Infraを連結の範囲に含めております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

第2 四半期連結会計期間より、連結子会社である株式会社ハンコヤドットCOMの決算日を6月30日から7月31日に変更し連結決算日と同一としております。この決算期変更に伴い、当第3 四半期連結累計期間における当該連結子会社の会計期間は10ヶ月となっており、決算期変更に伴う影響額は四半期連結損益計算書を通じて調整しております。

なお、この変更による当第3 四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1 四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	418百万円	493百万円
のれんの償却額	573百万円	828百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月12日開催の取締役会決議に基づき、当第3 四半期連結累計期間において自己株式574,100株の取得を行いました。この結果、当第3 四半期連結累計期間において自己株式が700百万円増加し、当第3 四半期連結会計期間末において自己株式が1,701百万円となっております。

また、当社は、2025年3月31日付で連結子会社である株式会社ペライチの株式を追加取得いたしました。この結果、資本剰余金が1,884百万円減少したことを主な要因として、当第3 四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,825百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	調達プラットフォーム	マーケティングプラットフォーム	計				
印刷・ソリューション領域	15,105	—	15,105	—	15,105	—	15,105
ビジネスサプライ周辺領域	13,160	—	13,160	—	13,160	—	13,160
梱包材領域	6,260	—	6,260	—	6,260	—	6,260
マーケティング領域	—	2,668	2,668	—	2,668	—	2,668
その他の領域	—	—	—	362	362	—	362
顧客との契約から生じる収益	34,526	2,668	37,194	362	37,557	—	37,557
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
売上高							
外部顧客への売上高	34,526	2,668	37,194	362	37,557	—	37,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	17	25	9	34	△34	—
計	34,534	2,685	37,220	371	37,592	△34	37,557
セグメント利益又は損失(△)	3,965	△239	3,726	127	3,853	△1,664	2,189

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム構築支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,664百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,664百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「調達プラットフォーム」において、株式会社AmidAホールディングス及び株式会社ラクスルファクトリーを連結の範囲に含めたことによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において2,143百万円であります。

「マーケティングプラットフォーム」において、株式会社ペライチを連結の範囲に含めたことによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において612百万円であります。

なお、のれんの金額のうち、取得原価の配分が完了していないものにつきましては、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2025年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	調達プラットフォーム	マーケティングプラットフォーム	計				
印刷・ソリューション領域	17,340	—	17,340	—	17,340	—	17,340
ビジネスサプライ周辺領域	18,147	—	18,147	—	18,147	—	18,147
梱包材領域	7,006	—	7,006	—	7,006	—	7,006
マーケティング領域	—	2,934	2,934	—	2,934	—	2,934
その他の領域	—	—	—	321	321	—	321
顧客との契約から生じる収益	42,494	2,934	45,429	321	45,750	—	45,750
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
売上高							
外部顧客への売上高	42,494	2,934	45,429	321	45,750	—	45,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5	5	35	40	△40	—
計	42,495	2,939	45,434	356	45,791	△40	45,750
セグメント利益又は損失(△)	5,484	△82	5,401	△23	5,377	△2,360	3,017

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム構築支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,360百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,360百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社グループでは、報告セグメント内の収益を下記の事業領域ごとに区分しております。

- 印刷・ソリューション領域：事業活動に使う紙への印刷物の販売や大企業向け印刷ソリューションの提供
- ビジネスサプライ周辺領域：ノベルティグッズや印鑑などモノに関する印刷物・加工品の販売や付随するサービスの提供
- 梱包材領域：段ボールや紙袋などの梱包材の販売
- マーケティング領域：テレビCM・動画広告のプラットフォーム「ノバセル」、ホームページ作成SaaS「ペライチ」の企画・運営、その他付随するマーケティングソリューションの提供

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは既存事業のオーガニック成長のみならず、M&Aを通じた領域や商材の拡張によるインオーガニック成長についても今後継続的に実現していきたいと考えております。

そのような背景の中、今後も複合的に拡大していく当社グループの事業内容を明確にし、投資家に対して明瞭な情報開示をすることを目的として、第1四半期連結会計期間より、従来「ラクスル」としていた報告セグメントの名称を「調達プラットフォーム」、従来「ノバセル」としていた報告セグメントの名称を「マーケティングプラットフォーム」に変更しております。

また、2024年8月1日付で組織変更を実施し、マネジメント・アプローチの観点から、従来「その他」として開示していたペライチ事業を「マーケティングプラットフォーム」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に組み替えて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。